

# 令和4年度 やまなしエコ通勤・エコ通学 トライアルウィーク 実施状況



## 1. 参加申し込み状況

### 申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
27	9,891	6,744

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は27事業所。
- ・参加事業所に勤務する9,891人のうち6,744人(68.2%)が現在マイカーで通勤。

### ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
15	28	15	11	1

- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は
  - 「メール・イントラネットなどで案内」 15事業所
  - 「掲示物・職場内回覧などで周知」 28事業所
  - 「会議・朝礼などで呼びかけ」 15事業所
  - 「マイカー通勤者に個別に働きかけ」 11事業所
  - その他（担当職員が各課等を訪問し呼びかけ） 1事業所

### ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
82	122	81	84	369

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者6,744人のうち、369人(5.5%)がエコ通勤にチャレンジする予定。

- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は
  - 「徒歩通勤にチャレンジ」 82人(22.2%)
  - 「自転車通勤にチャレンジ」 122人(33.1%)
  - 「公共交通通勤にチャレンジ」 81人(22.0%)
  - 「その他のエコ通勤にチャレンジ」 84人(22.8%)
- ・「その他のエコ通勤」の84人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

### ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット計	実人数
758	190

- ・配布対象者別内訳

	チケット	実人数
公共交通にチャレンジ	516	68
自転車通勤にチャレンジ	242	122
計	758	190

・昨年度に引き続き、自転車通勤にチャレンジする方に雨天対応用として1日分のエコチケットを配布。

期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は758枚。

うち、バス通勤にチャレンジする方の分が516枚、自転車通勤にチャレンジする方の雨天のバス対応分が242枚

・エコチケットを配付する実人数は190人で、うちバス通勤にチャレンジする者が68名、自転車通勤にチャレンジする方が122名

## 2. 期間中の取り組み状況

### バス事業者からのエコチケット利用状況

3月6日	24
3月7日	23
3月8日	30
3月9日	28
3月10日	29
3月11日	2
3月12日	2
合計	138

・期間中のワンコインエコチケットの利用数は138枚で、配付数758枚の18.2%。

・エコチケット利用率が低かったが、自転車通勤にチャレンジする方に一日配布したチケットが利用されなかったことが大きな要因と考えられる。

### 参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
3月6日	31	87	41	45	204
3月7日	31	93	41	64	229
3月8日	28	91	48	58	225
3月9日	32	89	43	55	219
3月10日	36	77	44	61	218
3月11日	8	15	6	17	46
3月12日	7	12	6	20	45
合計	173	464	229	320	1,186

・期間中にエコ通勤に取り組んだと報告のあったのは延べ1,186回。

・参加申し込みのあった369人が、期間中に平均3.2回のエコ通勤を実施した。

### 参加者からの代表的な意見

#### ○肯定的な感想

- ・自転車通勤をしたことで、エコ以外にも健康増進に繋がると感じた。
- ・いつもと違った通勤方法で気分転換になった。
- ・現在の状況でバス本数維持は大変だと思うが、今後も事業の実施をお願いしたい。
- ・通勤時、駅までの道沿いで花が咲いていて驚いた。
- ・健康増進につながることから、今後の通勤手段を見直すきっかけになった。
- ・乗車中は自分の時間を有意義に過ごすことができた。
- ・交通機関への意識や、歩く楽しさを知ることができ、良い経験になった。
- ・生活の一部に運動を取り入れることもできるので、健康増進に効果があると思う。
- ・天候に恵まれたので、さわやかな気持ちになり、仕事も捗った気がした。

#### ○否定的な感想

- ・3月は帰宅時間が遅くなることが多いので、バス通勤が難しい。
- ・自転車道で走行中、車に幅寄せされ怖い思いをした。
- ・朝のバスは混んでいて、空気が悪かった。
- ・この時期のエコ通勤はかなり厳しい。
- ・荷物が多い場合は参加が難しい。

○参加理由

- ・ 自家用車通勤では飲酒できないので、寄り道をしたくて参加した。
- ・ 職場で交通費の見直しの話し合いがあり、この企画を知ったので。
- ・ 地球環境問題への対応や、歩数増加による健康増進に繋がる活動だと思い参加。

○不参加理由

- ・ 勤務時間が公共交通の運行時間内にないため。
- ・ 自宅近くにバス停が無かったため。
- ・ 業務多忙により、バス運行時の帰宅ができなかった。
- ・ バスが定時運行されず、始業時間に間に合わないため、不参加。
- ・ 子どもの送迎等も行うため、公共交通ではライフスタイルに合わない。

○転換への課題

- ・ バスコンシェルジュは、もう少し柔軟な検索ができれば利便性向上に繋がるのでは。
- ・ 公共交通機関の活用しやすさと自転車通行の安全性の確保。
- ・ 駅から自宅、職場とも距離がある場合、サイクルトレインで自転車を載せられると便利。
- ・ 時刻表の時間が始業時間に間に合わない。
- ・ そもそも家の近所にバス路線が走っていない。
- ・ 市内では公共交通網が不十分なので時間がかなりかかってしまう。
- ・ 夕方はバスの本数も少なく、夜道を徒歩で帰ることは周囲の反対もあった。
- ・ 車道の拡幅や自転車通行帯が整備されればより安全に通勤できる。
- ・ 参加賞などモチベーションが上がる工夫も必要だと思う。
- ・ 開催時期を4月にすれば、新入学児の見守りもできるのではないかと思った。

3. 参加事業所（※公表不可の事業所は除く） 順不同

日東建設株式会社  
エクシオグループ株式会社 甲信支店  
有限会社 葦崎タクシー  
株式会社ローソン 山梨支店  
国立大学法人 山梨大学  
山梨県歯科衛生専門学校  
青い鳥老人ホーム  
甲府商工会議所  
山梨運輸支局  
甲府市役所  
富士吉田市役所  
都留市役所  
大月市役所  
葦崎市役所  
甲斐市役所  
笛吹市役所  
市川三郷町役場  
鳴沢村役場  
甲府市立東小学校  
山梨県立笛吹高等学校  
山梨県立青少年センター  
笛吹警察署  
山梨県庁